

影絵アニメーションフィルムのデジタル化と公開

有限会社 劇団かかし座

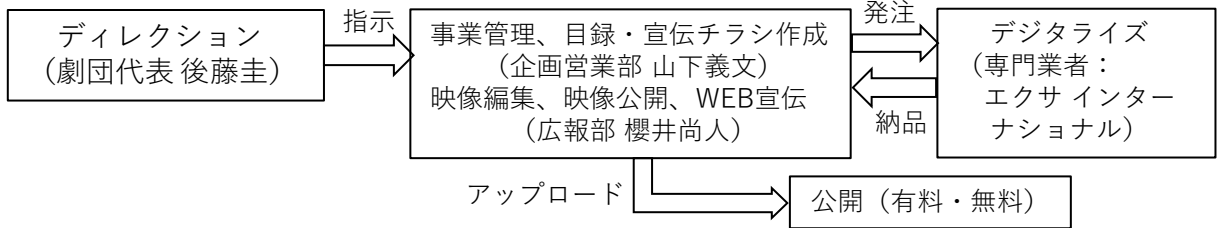
概要

1976～1981年に、劇団かかし座が制作しTBS系列局にて放映された影絵映像「影絵グリム童話」「影絵むかし話」は、「厚生省中央児童福祉審議会 推薦番組」を受賞し、海外にも輸出され放映されるなど、国内外で高い評価を受けた。

しかしながらその後、再放映されることなく映像原盤は当時のフィルムのまま保管され、劣化が進行している状況だった。

そこで本事業にて、フィルム映像のデジタル化を行い、WEBにて公開し誰もが視聴できるように取り組んだ。

体制／手法



成果

【成果物】

- ・「影絵グリム童話」(未デジタル分37話)と「影絵むかし話」(全65話中26話)、計63話のデジタル化。
- ・影絵映像の目録作成。
- ・影絵映像公開の宣伝チラシの作成。



いばらひめ
(シンデレラ)



笠地蔵

【公開方法】

- ・目録 かかし座HP内の特設ページにて掲載
- ・映像
- [有料・全作品] 劇団かかし座ビデオシアター (過去にデジタル化した15話も含め) 計78話が、Vimeoにて月額800円で全作品視聴可。
- [無料・一部] 劇団かかし座YouTubeチャンネル
公開期間：令和4年度末までの予定



劇団かかし座ビデオシアター
宣伝チラシ

【文化的・社会的・経済的な意義】

- ・アニメーションとして制作された影絵映像は、国内外を見渡しても極めて少なく、本映像は文化財価値・資料的価値を有する貴重なものであり、公開により映像研究に寄与する。
- ・「厚生省中央児童福祉審議会推薦番組」を受賞したこれら映像が、誰でもいつでも視聴できるようになる。
- ・「影絵グリム童話」全52話のデジタル化が完了したことを踏まえ、これから海外輸出に着手する。

【残された課題】

- ・今回デジタル化できなかった「影絵むかし話」残り39話のデジタル化と公開。